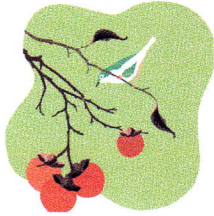


今月のことば

2013年 10月



「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。一主の御告げ—それはわざわざいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」

聖書

エレミヤ書 29章 11節

将来に希望を持てますか？

岡山市に近い田園地帯の小さな教会に赴任することを決めて間もなく、突然、ひどい視力低下が起きました。一歳半で悪性の麻疹^{はしか}にかかり左目は失明。右目も弱視で、教室ではいつも最前列。それでも黒板が見えづらかった私には、一層の視力低下は重大事でした。原因不明のまま、眼科医に角膜移植を勧められ、ある大学病院の、当時権威とされた医師を紹介されました。診察の結果、手術の成功（視力改善）の可能性は75%とのこと。迷いました。もし失敗したら・・・ 答えを出せずに日が過ぎて行く中で、その日の聖書通読箇所を読み進むうちに「今月のことば」に出会ったのです。心に平安を伴う確信が湧いて来ました。手術は成功する！すぐに病院に手術を申し込みました。約1ヶ月後、突然、病院から即刻来るようにと連絡があり、2、3時間後には手術台に寝かされていました。手術は成功し、退院時には0.6の視力が与えられていました。

それから3ヶ月後、岡山に赴任した私の交通手段は自転車でした。地方の車社会の現実を痛感し、それまで考えたこともなかった車の運転のことを考えるようになり、思い切って教習所に行ってみました。免許に必要な視力は0.7以上（片目でもOK）、視野は150度以上とのこと。検査の結果、視力は0.7、視野は153度。教習を許されました。その時、私は一つのことにはッと気づかされたのです。なぜあの時（岡山に赴任することを決意した時）急に視力が落ちたのか。神は地方の車社会で伝道する私のために視力を与えてくださったのです。

みらい平キリスト教会はあなたのおいでを

心からお待ちしています。